

王城寺原演習場対策協議会の開催

令和3年6月21日、王城寺原演習場対策協議会（構成委員 宮城県副知事、色麻町長、大和町長、大衡村長）が宮城県庁において開催され、東北防衛局は同協議会に対し、令和3年度の王城寺原演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃移転訓練の日程、訓練規模、新型コロナウイルス感染症対策等について説明しました。

協議会では、会長である佐野好昭宮城県副知事の挨拶の後、熊谷昌司東北防衛局長から挨拶と訓練概要等の説明がなされ、引き続き阿部也寸志企画部長から去る6月15日に同協議会から防衛大臣宛てに提出された要望書に対する対応について説明を行いました。これらの説明に対して各委員からの質疑がなされ、熊谷局長から要望については誠意と緊張感をもって対応すること、適時・的確な情報提供を行うことなどの回答をしました。



挨拶を行う熊谷東北防衛局長

協議の結果、協議会からは、訓練日数がこれまでと同程度であり、当該訓練は、我が国の安全保障と沖縄県における過重な負担の軽減を図るという観点で国の責任において実施しているものであることから、やむを得ないものとする回答をいただきました。

東北防衛局では、訓練の円滑かつ安全な実施と、地域住民の方々の不安解消を図るため、王城寺原演習場内に「現地連絡本部」を設置し、地元自治体等への情報提供や連絡調整のほか演習場周辺の巡回などを24時間体制で行うこととしております。



左から、萩原大衡村長、早坂色麻町長、佐野宮城県副知事
浅野大和町長



熊谷東北防衛局長

(奥：阿部企画部長、手前：林地方調整課長)